



新たなキャンパスの顔となるアプローチ／来訪者を迎える視覚効果を活かした校舎サイン

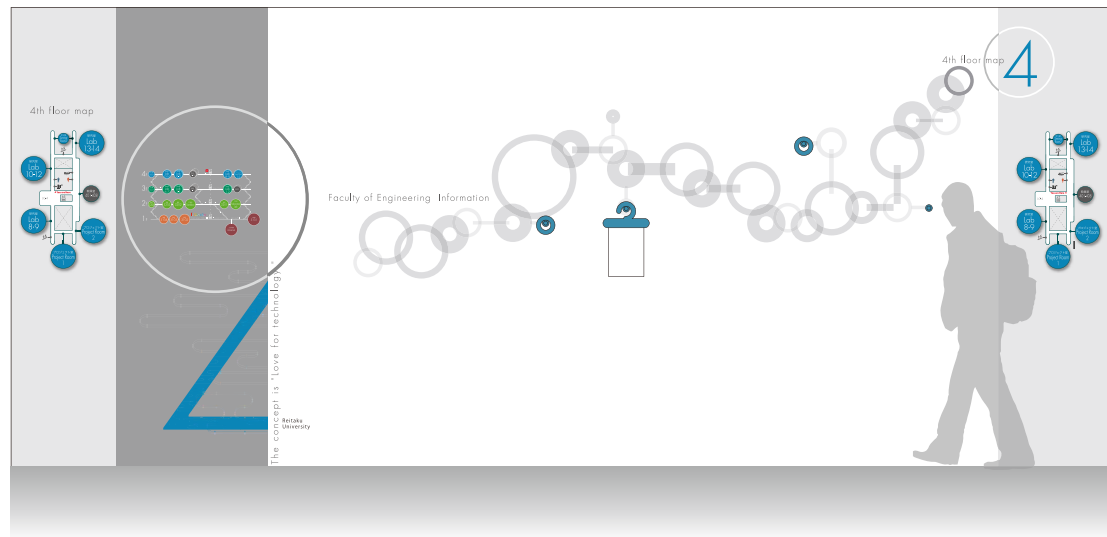
テクノロジーと自然

麗澤大学が2024年4月に文理融合総合大学へ転換を迎えるにあたり、
新設される工学部 情報システム工学専攻・ロボティクス専攻の活動拠点の建設と、
新たなキャンパスの顔づくりとして敷地北側のランドスケープを整備したプロジェクト。
工学部らしさを表現する**電子基盤**と校章デザインの植物**萬両**^{まんりょう}からイメージされる「**〇とー**」を用い、
キャンパス内の豊富な自然をモチーフとしたサインデザインを展開した。

1階は幹、2階は新芽、3階は青葉、4階は空をテーマカラーとして各階のフロアサインに反映し、
大学内の豊かな自然を表現するとともに、**学生の伸びやかな成長**への期待が込められている。



電子基盤



空：飛躍

青葉：豊かさ

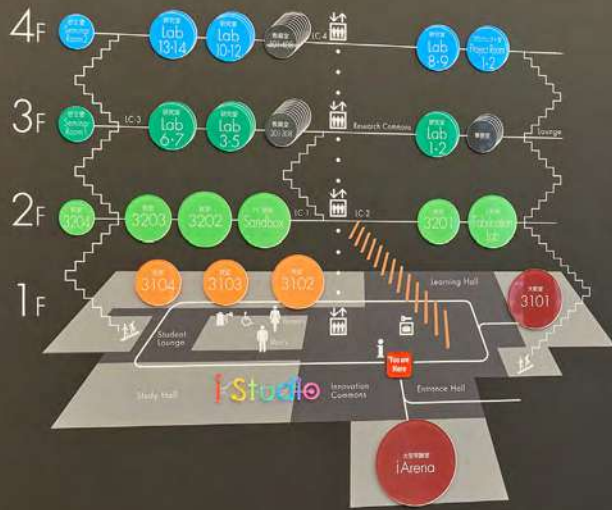
新芽：成長

幹：経験



エントランスホール／「〇とー」を用いた工学部らしい視線を誘導する光のサイン

SATSUKI
Faculty of Engineering





学生の交流拠点となる iStudio / エントランスホールと視線的につながる照明計画



Communication Hock

各階フロアサインに 学生・教員が自由に利用できるフックを設置
掲示物や写真など 自由な情報コミュニケーションの場となる





設備パネルを利用した室名グラフィックサイン／1階「幹：経験」



3階グラフィック「青葉：豊かさ」／交流空間と動線を可視化した床デザイン



3階「青葉：豊かさ」・4階「空：飛躍」／吹抜けを介しつながりを感じるグラフィックサイン



設備パネルを利用した室名グラフィックサイン／4階「空：飛躍」

PS-2



Men's Restroom



PS-3



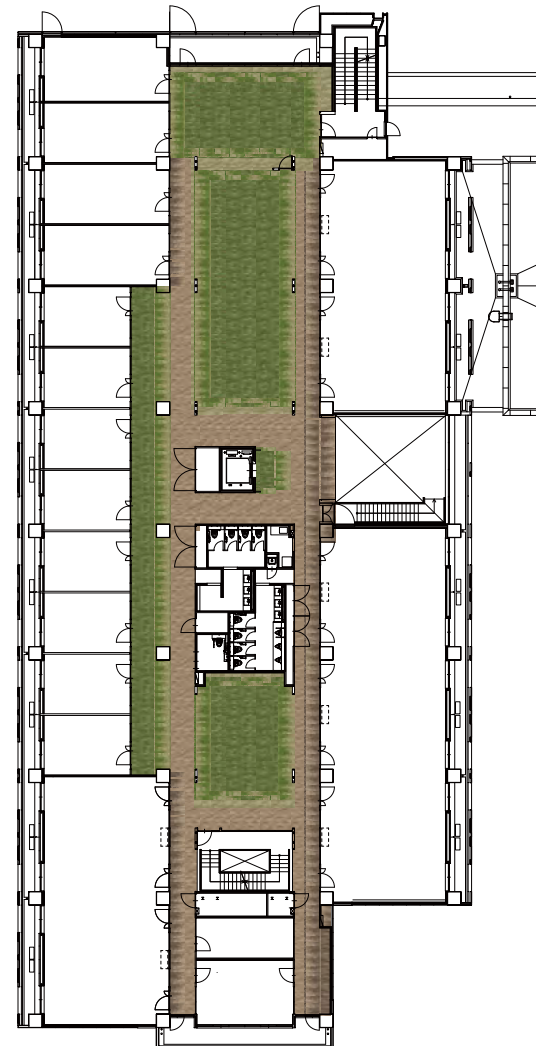
Women's Restroom





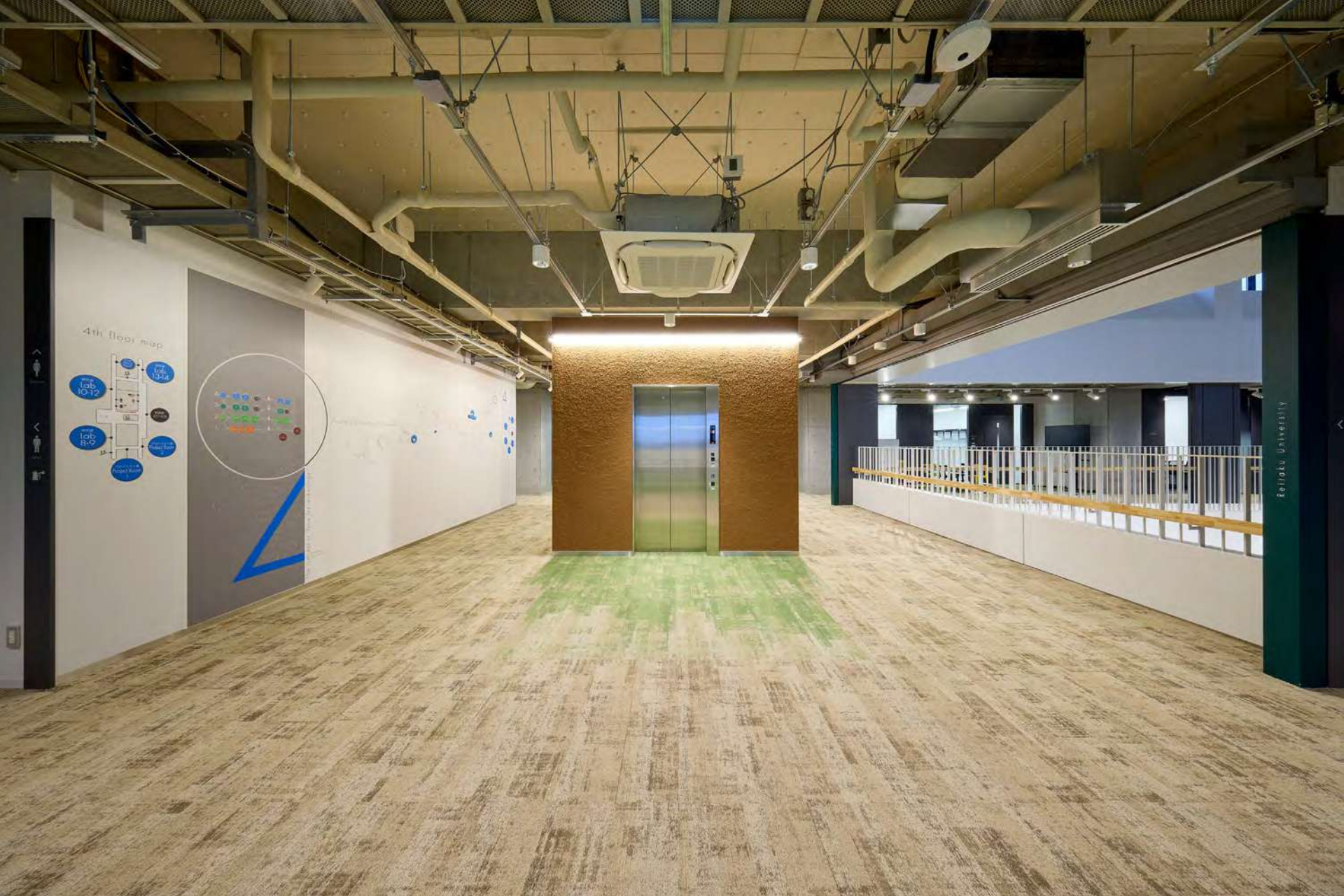
交流空間・人の流れを示す床サイン

キャンパス内に豊富な自然をモチーフとし、空間自体にも床サインとして自然を表現、内外のつながりを感じられる空間とした。人が集まり交流する空間は「芝」をイメージした緑、動線は「道」をイメージした茶を配色し交流空間と動線を可視化している。





交流空間と動線を可視化した床デザイン



「〇とー」を用いたフロアサイン／交流空間と動線を可視化した床デザイン



キャンパスの豊かな自然とつながる／交流空間と動線を可視化した床デザイン



建物へ視線を誘導する小道／ランドスケープサイン